

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2026/9/14 ~ 2026/9/20

発令中の 警報／注意報	県全体	〈警報〉		〈注意報〉		インフルエンザ	
		警 報	中 部 保 健 所：なし 八 重 山 保 健 所：手足口病	注 意 報	中 部 保 健 所：インフルエンザ 南 部 保 健 所：インフルエンザ 八 重 山 保 健 所：インフルエンザ	北 部 保 健 所：インフルエンザ 宮 古 保 健 所：インフルエンザ	

デング熱について

デング熱は、デングウイルスによる感染症で、主に熱帯・亜熱帯地域で流行しています。日本では海外の流行地域で感染し、帰国後に発症する例が多く報告されています。

感染経路

デングウイルスを持つ蚊（ネッタイシマカやヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。通常、人から人へ直接感染することはありません。患者を吸血した蚊が別の人を刺すことで、感染が広がる可能性があります。

潜伏期間と症状

感染してから症状が現れるまでの期間は2～14日（多くは4～10日）です。突然の発熱、頭痛、目の奥の痛み、筋肉痛、関節痛、発疹などがみられます。多くは1週間程度で回復しますが、まれに出血やショックなどを伴う重症例になることがあります。

予防方法

予防の基本は「蚊に刺されない」「蚊を増やさない」ことです。屋外では長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を適切に使用しましょう。また、蚊は植木鉢の受け皿、バケツ、空き容器などにたまった少量の水でも発生します。家の周囲を定期的に確認し、不要な水たまりをなくしましょう。

まとめ

海外の流行地域へ渡航する際は、滞在中の蚊対策を心がけましょう。帰国後に発熱や発疹などの症状が現れた場合は、早めに医療機関へ相談し、受診時には渡航先や滞在期間を伝えてください。日頃から身近な蚊対策を行うことが、デング熱の予防につながります。

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし	0	0
2 類	結核	6	2
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0
4 類	レジオネラ症	2	0
	レプトスピラ症	1	0
5 類	梅毒	1	0

■ 感染症の定点当たり報告数

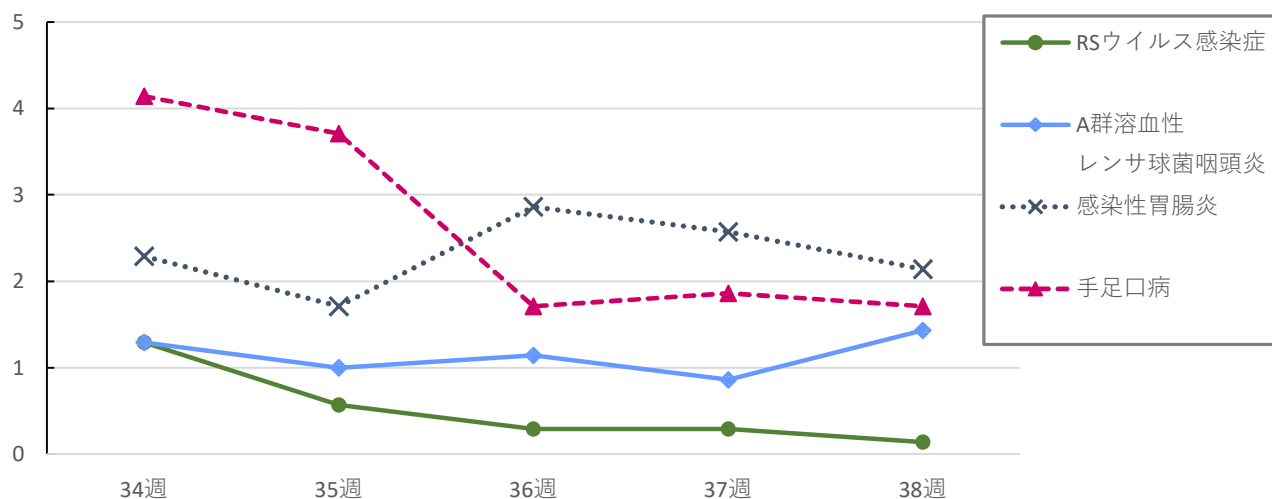
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	34週		35週		36週		37週		38週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	3.69	4.43	6.92	8.5	10.92	10.34	21.77	16.61	28.54	26.27
RSウイルス感染症	1.29	1.63	0.57	0.92	0.29	0.88	0.29	0.58	0.14	0.38
咽頭結膜熱	0.14	0.46	0.57	0.38	0.57	0.42	1.14	0.67	1.29	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29	1.25	1	0.96	1.14	0.92	0.86	0.96	1.43	1.25
感染性胃腸炎	2.29	4.04	1.71	4.08	2.86	4.63	2.57	4.13	2.14	5.04
水痘	0.57	0.21	0.14	0.13	0	0.17	0.14	0.08	0.57	0.17
手足口病	4.14	2.42	3.71	2	1.71	1.63	1.86	2.04	1.71	2.13
伝染性紅斑	0	0	0	0.04	0	0.04	0.14	0.04	0.14	0.04
突発性発疹	0.86	0.42	0.14	0.38	0.71	0.46	0.57	0.58	0.71	0.38
ヘルパンギーナ	0.71	0.5	0.43	0.63	0.57	0.67	0.29	0.58	0	0.29
流行性耳下腺炎	0	0.04	0	0	0	0.04	0	0	0	0.04
流行性角結膜炎	1	2.56	0	2.33	0.5	1.78	0.5	1.67	0.5	2.67
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.33	0	0.29	0	0.14	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0.29	0	0	0	0
COVID-19	1.38	1.45	1.15	1.34	1.54	1.16	1.38	1.5	1.62	2.16

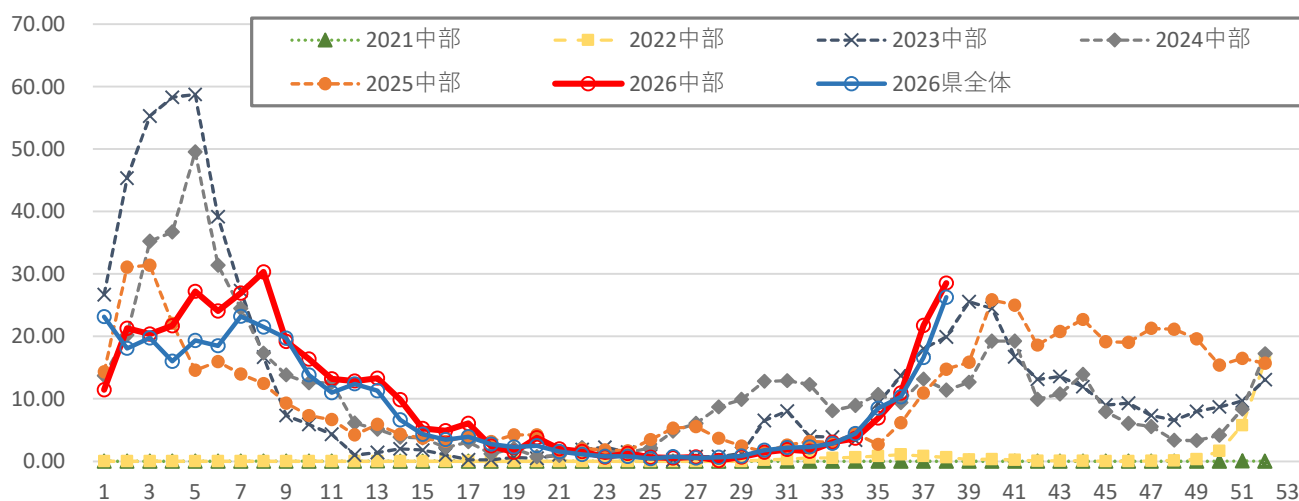
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

